# 埼玉の中学生が『あしかが探訪』

## 川口市立西中学155人が校外学習

## 35カ所、5時間かけて

足利学校入口

織姫神社

遊学館で機織り体験

東武足利市駅

快晴の3日、埼玉県川口市立西中学校（森田彩子校長）の2年生5クラスの計155人が、足利市街地を活動エリアとして校外学習『探訪あしかが』を体験した。

昨年の2学期、足利が校外学習の見学地に決まり、それから旧市街地の35か所が見学先に選定された。鑁阿寺、織姫神社など名所旧跡ばかりでなく、まちなか遊学館での機織りや織物伝承館での染め物体験も含まれており、足利の歴史と文化にふれる目的で計画された。また、今回の校外学習を実施するにあたり、日刊『探訪あしかが』を31号まで発行し、準備を進めてきた。

生徒たちは30班に分かれ、班ごとに足利学校を見学地のチェックポイントとして、そのほか少なくとも5カ所の見学地を見て回った。活動エリアは、北は心通院から南は両毛線の線路までの1・3㎞、東は伊勢神社から西は足利公園までの2・2㎞。生徒たちは、班ごとに見て回る『コース』を練り上げてきたが、約5時間という滞在時間の中で、興味のある見学先を決めるまで、多くの時間を費やしたという。

当日は班ごとに午前9時30分から東武線の足利市駅でチェックを受けたあと、それぞれが事前に届け出た30通りの『コース』を周った。3組6班は足利市駅から北方向の明石弁天・心通院を巡り、遊学館ではじめての機織り体験に挑んだ。また、1組3班は西方向の常念寺・草雲美術館を周るなど、それぞれが各コースを計画通り歩いて、全員が無事帰路についた。なお、このあと引き続き『探訪あしかが』を刊行し、今回の活動の記録と校外学習の感想や反省をまとめていく予定という。

校外学習の見学先（35カ所）は以下の通り。

足利学校、まち歩きミュージアム（友愛会館）、太平記館、茂右衛門蔵、足利市立美術館、足利織姫神社、鑁阿寺、まちなか遊学館、伊勢神社、逆さ藤天満宮、八雲神社（5丁目）、法楽寺、八雲神社（大門通）、権五郎大権現、福厳寺、西宮神社、心通院、織物伝承館、長尾弁天、利性院（閻魔堂）、高福寺、栄富稲荷天満宮、善徳寺、八雲神社（緑町）、草雲美術館、子安観世音（福厳寺）、法玄寺、巴町薬師、樹覚寺、三宝院、常念寺、足利公園古墳群、徳正寺、長林寺、明石弁天。

遊学館で組紐を体験